［浦安市］　浦安市社会福祉協議会西2支部



健康・子育て・地域／異世代交流が活動の三本柱です

健康サロン

浦安市社会福祉協議会には10の支部社協があります。その中のひとつ、浦安市社会福祉協議会西２支部（以下、西２支部）は、エリア内にJR京葉線の舞浜駅がある人口密度の高い地区ですが、毎月のように開催するサロンなどのイベントはどれも大盛況です。今回は高齢者の健康、子育て中のママの応援、そして地域・異世代交流を3本柱とする、西2支部のさまざまな取り組みをご紹介します。

高齢者が健康に暮らせる街づくり

西2支部ではこれまで、地域福祉フォーラムの取り組みも取り入れながら、活発に活動を推進してきました。そして現在最も力を注いでいるのが、高齢者の健康維持を目的とした「健康サロン」や「健康教室」などの事業です。

「健康サロン」は毎月2回（第1・第3金曜日）、舞浜レインボーくらぶ会館で開催しています。地域包括支援センターが作成した「浦安はつらつ体操」、ゴムを使った筋トレのような「セラバン体操」、軽快なリズムに合わせて顔と口のエクササイズができる、千葉県歯科医師会オリジナルの「スマイルアップ！ちば体操」など、お茶の時間を挟みながら身体を動かす2時間のプログラムとなっています。「健康のためでも１人で運動するのは面倒。だけど皆と一緒だと楽しい」と、毎回の開催を心待ちにしている参加者も多いそうです。

また、年3回ほど「チェアエクササイズ」や「脳トレゲーム」などを行う特別企画を開催しています。

「健康教室」は東野にある総合福祉センターなどを会場に、2005年から毎年1回開催しています。著名な医療関係者などを講師に招き、健康に関する講演をしていただいた後、バイオリンやフルートなどの演奏で癒されるという流れになっています。



左から副支部長の市坪恵利子さん、支部長の谷昭夫さん、書記の高須和子さん

西2支部ではこのほかにも、毎回約100名が参加する「日帰りバスツアー」（平成25年度は「笠間稲荷の菊まつり」へ）や、マジック、落語といったさまざまなショーを楽しめる「ふれあいまつり」など、高齢者が楽しめる事業を開催しています。

子育てを通した母親同士の気兼ねないおしゃべりタイム

子育て中のママを応援する代表的な事業が「子育てサロン」です。0歳児の母親を対象に毎月1回（第3月曜日）、富士見和貴会館で開催。毎回10組以上の母子が参加しています。時には保健師や歯科衛生士、助産師などを招いてお話を聞くこともありますが、母親の友達づくりが主な目的のため、９０分のほとんどをフリートークの時間としています。参加者同士、子育ての悩みなどについて気兼ねなくおしゃべりできて、初めて参加した人でもすぐ打ち解けられると好評です。



サツマイモの苗植え



子育てサロン



ふれあいまつり



ケナフの紙すき体験

子どもたちと高齢者の自然な交流を育む場を提供

また、地域・異世代交流の代表的な事業として、舞浜公園での「ケナフ・サツマイモ栽培」があります。

支部の発足まもない2002年から行っている「ケナフ・サツマイモ栽培」は、幼稚園児と高齢者の貴重な交流の場となっています。ケナフを栽培している理由は、空気を綺麗にする植物だからとのこと。5月に皆で種をまき10～11月には2～3mもの大きさになったものを収穫し、幼稚園児が紙すきをしてハガキを作ったり、葉を粉にしてパンやクッキーに入れたり、竹炭を作っている団体に依頼して炭に加工することも。サツマイモは掘る食べるを楽しむだけでなく、ツルでクリスマス用のリースや正月飾りなどを作っています。

若い推進委員を大募集！

今後については、「健康サロン」を自治会の協力を得て各地区で行えるようにしたいと考えているそうです。また現在、約50名の推進委員がいますが、もっと若い人にも加わってもらい、一緒に活動を推進していきたいとのことです。

浦安市社会福祉協議会

将来を見据えて市民後見人を養成！



左から地域づくり課・課長の斉藤正伸さん、事務局長の石井克典さん、生活サポート課・課長の牧野剛さん

決して広くはない市内に10もの支部社協があるため、密度の濃い活動ができていることが、浦安市社会福祉協議会（以下、浦安市社協）の特長と言えます。

浦安市社協では平成26年度から市より受託し、市民後見人の養成に力を注いでいます。施設実習を含む約10日間の「浦安市市民後見人養成講座カリキュラム」を実施し、最終的には3年後の一人立ちを目指しています。全国的にもそうであるように浦安市も高齢化が進んでおり、その数は今後さらに増えると予想されています。したがって高齢者や障がいのある方々を、福祉だけでなく法的に支えなければならない時代になりつつあり、その役割を市民の方々にも担ってほしいと考えています。

子育て支援事業については、平成26年9月、浦安市、UR都市機構、そして浦安市社協の協働により、乳幼児と子育て中の親が交流できる場としてUR都市機構の賃貸住宅の集会所に「望海（のぞみ）の街　子育てサロン」をオープンし、初回は35組の親子が参加しました。浦安市は核家族が多いため子育て支援を重視すると同時に、地域の資源を有効に活用し地域づくりを推進する、官民一体となった先進的な取り組みです。

浦安市は東日本大震災で甚大な被害を受けました。その教訓を活かし災害時に向けた体制づくりに取り組み、平成25年度に県内初となる常設型の「災害ボランティアセンター」を浦安市社協内に設置しました。

また、平成27年度に向けて「うらやす地域福祉活動計画Ⅲ」を策定中で、これらの活動と併せてより多くの市民の方々に地域の活動に参加していただけるよう、内容を充実していきたいと考えています。

※浦安市人口：162,952人　65歳以上人口：23,962人　高齢化率：14.7%（平成26年4月現在）